

静岡県観光基本計画（案）のパブリックコメントにおける 御意見及びそれに対する県の考え方等

- 1 意見募集期間 令和3年12月24日（金）から令和4年1月14日（金）まで
- 2 意見件数等 6人8件
- 3 意見区分等

区 分		件 数
A	御意見を踏まえて案を修正する	4件
B	御意見の趣旨を踏まえて取り組む	4件
C	業務の参考とする	件
D	原案のとおりとする	件
E	計画に記載済み	件
		計8件

4 御意見の内容及びそれに対する県の考え方

番号	御意見の内容	県の考え方
1	計画全体を拝見して、「時間帯」の概念や「ナイトタイム」に関する記載が無いようですが、観光消費額の拡大に向けては重要な要素かと思いますので、追加できないものかと感じました。	A 御意見いただいたとおり、観光消費額の拡大のためには、時間帯の概念は重要な要素となるため、観光アプリTIPS等のデータを分析することにより、利用が多い時間帯や繁閑期の傾向を顕在化し、マーケティングに活用していく旨を追記する。【P45】
2	本計画案では「サステナブル」が前面に出ていますが、事業者が稼ぐこともサステナブルには重要だと思います。	B サステナブルツーリズムの推進のためには事業者が稼いでいける仕組みづくりが重要であり、モデルツアーの実施による成功事例の横展開、地域の産業との連携等を進めていく。
3	浜松浜名湖と大井川地域は農水省のSAVOR JAPAN（農泊 食文化海外発信地域）に登録されているので記載してほしい。	A 農水省のSAVOR JAPANに登録されることで、日本の食に関するマナーや文化を外国人へ効果的に訴求できるため、グリーン・ツーリズムの推進の箇所に、浜松・浜名湖地域と大井川地域が登録されていることを明記する。【P28】
4	「しずおかサステナブルツーリズム」の推進のためのテーマ性を持ったツーリズムの中でも、私はガストロノミーツーリズムを推進していくことが良いのではないかと思います。静岡県は多彩で高品質な食と食文化があると言いますが、単純に食では北海道に勝つことはできないと思います。よって静岡県をガストロノミーツーリズムで盛り上げることで、北海道とはまた別の視点での食を中心とした観光を作り上げることができ、観光客を惹きつけることができるのではないかと思います。	B 本県では、「食の都」づくりとして、県産食材を積極的に活用する料理人や、国内外に誇りうる価値や特長を備えた食材・加工品の認定・表彰などを通じた県産食材の消費拡大を推進してきた。このような取組を進める中で、地域において食と観光を結びつけた取組が始まるなど、食や食文化を活用した地域磨きの機運が高まってきている。 本県の食材や食文化、一流の料理人の情報を、観光コンテンツと組み合わせで発信するなど、本県最大の魅力の一つである「食」の魅力十分に活用したガストロノミーツーリズムを推進する。

番号	御意見の内容	県の考え方
5	本県観光において弱みである、平均宿泊日数が短いことや、「飲食」「娯楽」「買い物」の消費額が全国平均と比べて低いことについて記載されていますが、理由としては観光地の魅力の低さ、お土産の少なさなどが挙げられます。観光地内の充実度の向上、静岡県内の名産品を知ってもらうためにも、お茶や桜エビ、みかんを使ったお土産の開発に力を入れるべきであると考えます。	B 本県の旅行満足度において「お土産」の魅力は、「観光地の自然・景観」や「食の魅力」と比較して低くなっている。 県内食材を活用した新商品や新サービスの開発のへ支援や地域産業との連携を通じて、本県の魅力を高めていく。 また、域内消費を高めるため、観光アプリ T I P S で、旅行中に好みに応じた周辺のお薦め情報を通知することなどにより、立寄施設数を増やす仕組みづくりを行う。
6	静岡県では SDGs のモデル県を目指すために、観光客と地域住民に配慮した取り組みの推進することで静岡県に訪れる人が幸せに感じられる地域を実現しようとしていることがわかりました。しかし日本は SDGs の認知度が他国と比較すると低く、来訪者や地域住民が持続可能な地域社会の考えに対する理解が得られにくいのではないかと思います。静岡県として特に地域住民の SDGs に対する理解や受容を促すための施策を行うか気になりました。	A 施策の一つとして、持続可能な観光モデルをつくるため、「日本版持続可能な観光ガイドライン」に記載されている指標を参考にしながら、モデルツアーの実施や専門委員会の運営などにより本県が目指すべきサステナブルツーリズムの方向性を定めた指針を策定することを記載する。【P35】
7	「ユニークベニュー」という取り組みについて、数年前くらいからニュースなどで知る機会がありました。静岡県には富士山世界遺産センターや日本平夢テラスみたいなロケーションやデザインが素晴らしい建物もあるし、ジオサイトのような絶景ポイントもあるので、静岡県でも「ユニークベニュー」としてそういった場所を使って、楽しめるイベントなどを開催してはどうでしょうか。	A 歴史的建造物や公的空間で会議やレセプションなどを行うユニークベニューは、特別感や地域特性を演出でき、本県の魅力の向上や MICE 誘致などに効果があるため、文化資源等の活用ユニークベニューとして活用していく旨を追記する。【P39】
8	静岡県全域の観光で使える電子感謝券のようなものがあれば、ぜひ使って旅行に行きたいと思います。また、ふるさと納税は、返礼品を気に入れば繰り返し同じ自治体を選ぶことが多いと思うので、リピーターの獲得にもつながりやすいと思われます。高額所得者ほど、寄附の優遇制度をしっかりと利用していると聞くので、首都圏の富裕層を取り込めるのではないのでしょうか。静岡県にとっても、税収が増え、旅行先でもお金を使ってくれることで地元に着るお金も増えるのではないのでしょうか。	B 域内消費を促進するため、エリア内で流通・利用される地域通貨や飲食店やお土産屋で使えるクーポンの活用などの仕組み作りを検討していく。 また、観光分野におけるふるさと納税の活用については、今後の施策として検討させていただく。